



大和をもっと  
素敵にデザイン  
Buy Local One Yamato

## 商工会議所ビジョン

# 大和をもっと素敵にデザイン ～Buy Local One Yamato～

2024年3月26日  
大和商工会議所

## 【全体構成】

1. ビジョン策定の背景
2. ビジョンの実現に向けたミッション・行動指針
3. ビジョンの実現に向けた取り組みの方向性
4. ミッションの推進体制
5. 実施スケジュール
6. 検討の経緯

## 1. ビジョン策定の背景

### 「大和をもっと素敵にデザイン～BuyLocalOneYamato～」

大和商工会議所は、1994年(平成6年)に設立され令和6年4月で創立30周年を迎えます。設立以来、地域産業の発展を図ると共に、社会一般の福祉の増進に資することを目的として、幅広い公共性を持ちながら各種事業に取り組んでまいりました。

創立30周年を機に、コロナ禍で棄損した市内産業の継続支援、そして会員事業所発展のために商工会議所は何かができるのか、正副会頭と部会、支部長会、青年部、女性会が一体となって特別委員会を設置し、5年間の中期ビジョンを商工会議所ビジョンとしてまとめました。

委員会では、大和市の地域経済循環図をもとに市内経済の分析を行い、企業間取引において所得が大きく市外に流出している構造であることが明らかになりました。

持続可能な地域経済を構築するためには、現状の所得流入を維持・拡大しつつ、可能な限り所得を地域内で循環させるとともに、それがまた新たな所得の流入を誘発するよう、地域のあり方・所得の流れをデザインする必要があるとの結論に達しました。

そこで「大和をもっと素敵にデザイン～BuyLocalOneYamato～」をキャッチフレーズに「4つのミッション」「4つの行動指針」を掲げて地域経済循環の改善に取り組んでまいります。

※「BuyLocal」運動とは地域の魅力向上を狙う経済活性化運動であり、地域事業者や自治体にも地商、地域間企業取引、官民連携や公共工事の民間委託、工場開発製品や農産品の活用を呼びかけ促進することで良い事業者を育てます。こうした運動を「OneYamato」、多様な関係者が一丸となってやり遂げるといった思いが込められています。

## 2. ビジョンの実現に向けたミッション・行動指針

大和商工会議所では、地域を強くするため、今後の中期的な活動方針となる商工会議所ビジョン「大和をもっと素敵にデザイン～BuyLocalOneYamato～」を作成、「4つのミッション」と「4つの行動指針」を掲げ、「企業の見える化(可視化)」、「デザイン経営の導入」を核として地域経済循環の改善に取り組んで参ります。

### 【4つのミッション】

#### 1. 地域企業間取引の拡大 BtoB

～地域企業の機械設備や技術、サービスを見える化、売れる導線づくり～

#### 2. 地商の拡大 BtoC

～地域店舗の商いをデザイン・ブランディング～

#### 3. 工場の消費者向け商品開発や販路開拓支援、 農産品活用の拡大 FtoC

～工場や農産品の商いをデザイン・ブランディング～

#### 4. PPP/PFIの拡大 BtoG

～官民連携、公共事業の民間委託による地域内循環の強化～

### 【4つの行動指針】

#### 1. Buy Local One Yamato運動による産業活性化

#### 2. 各種業界団体等との連携による意見具申の推進

#### 3. 行政・各種業界団体との連携による販わい創出

#### 4. 商工会議所の基盤強化

- 1.BtoBはBusiness to Businessの略、企業間取引のこと。
- 2.BtoCはBusiness to Consumerの略、企業と一般消費とのビジネス形態。
- 3.FtoCはFactory to Consumerの略、メーカーと消費者の販売形態およびFarmer to Customerの略、農家とお客さま(企業含む)との販売形態。
- 4.BtoGは、Business to Governmentの略、官公庁などの国の機関や地方自治体との取引のこと。  
PPP・PFIとは、官民連携によって民間の創意工夫を公共サービスの設計～運用に活かす手法のこと。PPPIは、官民のパートナーシップによる公共サービスの提供手法のこと。  
PFIは、PPPの代表的な手法のひとつで、民間の資金とノウハウを活用した運営手法。

### 3. ビジョンの実現に向けた取り組みの方向性

大和商工会議所では、ビジョンの実現に向けたミッション・行動指針に沿った「**取り組みの方向性**」を5年計画(2024年度～2028年度)で実施します。

※令和6年度以降、アクションプランを策定し事業計画を推進します。

#### 行動指針1「Buy Local One Yamato運動による産業活性化」

～ 企業に見える化(可視化)、デザイン経営の導入を核とした地域経済循環の改善への取り組み～

#### 1. BtoB 地域企業間取引の拡大

(企業と企業)

「地域企業の機械設備や技術、サービスに見える化、売れる導線づくり」

##### 【全体事業】

- ・イベントにおける製品(商品)に見える化プロモーション(既存事業の拡充)
- ・Buy Local One Yamato運動の推進  
(新規事業:会員事業所の商いをデザイン・ブランディング、マーケットin)
- ・ホームページリンク集の充実による会員企業に見える化(既存事業の拡充)
- ・ザ・ビジネスモールへの登録勧奨(既存事業の拡充)

##### 【部会事業】

- ・「テクニカルショウよこはま出展展示」、「し・ご・と発掘市」、「人財確保に向けた施策活用(産業雇用安定センター・学校法人との情報交換会)」(工業部会)
- ・「会員交流会の拡充」(工業・建設業・サービス業・飲食業・運輸倉庫業部会)
- ・「活性化ツールプロジェクトの実施」(サービス業部会)
- ・「情報発信の拡充」(飲食業部会)

#### 2. BtoC 地商の拡大

(企業と一般消費者)

「地域店舗の商いをデザイン・ブランディング」

##### 【全体事業】

- ・イベントにおける商品・サービスに見える化プロモーション(再掲)
- ・Buy Local One Yamato運動の推進(再掲)
- ・ホームページリンク集の充実による会員企業に見える化(再掲)
- ・やまとトピックの活用(既存事業の拡充:大和を含む近隣周辺の知名度UPやブランド力向上に資する活動を展開)

##### 【部会事業】

- ・楽しく市内店舗を巡り来街者に喜んでもらう認知の拡大、ファン獲得(商業部会)
- ・やまと・住まいの無料相談会の拡充(建設業部会)
- ・スタンプラリー実施(飲食業部会)
- ・子供向けお金教育イベントの実施(金融保険業)
- ・空き家管理や有効活用法についての勉強会(不動産業)

#### 3. FtoC 工場の消費者向け商品開発や販路開拓支援、農産品の拡大

(メーカーと消費者/農家と消費者・企業)

「工場や農産品の商いをデザイン・ブランディング」

##### 【全体事業】

- ・事業者の個社支援、地域事業者の商いをデザイン・ブランディング化、売れる導線づくりへの支援(新規事業)
- ・農産品の活用拡大(新規事業)
- ・特産品・推奨品のデザイン・ブランディング化、売れる導線づくりへの支援(新規事業)

#### 4. BtoG PPP・PFIの拡大

(企業と国や自治体) (官民連携)

「官民連携、公共事業の民間委託による地域内循環の強化」

##### 【全体事業】

- ・行政との懇談により、行政運営の課題を民間の力で支援する(新規事業)
- ・玄関口にふさわしい大和駅周辺の環境整備(新規事業)
- ・2027年国際園芸博覧会開催における交通体系、観光客受け入れ等に伴う公共工事等の域内受注を促進(新規事業)

##### 【部会事業】

- ・花博及び花博後のテーマパークを見据えた交通インフラ整備、歩者分離、自転車道路分離等の施策による交通事故減少、二次物資集積拠点の設置による災害時の物資供給の拠点整備(運輸倉庫業部会)
- ・花博、花博後のテーマパーク計画の構想を見越した都市計画案の検討(不動産業)

### 3. ビジョンの実現に向けた取り組みの方向性

#### 行動指針2「各種業界団体との連携による意見具申の推進」

交通渋滞の緩和、航空法による高さ制限の緩和、都市計画区域の見直しによる再開発促進、横浜市瀬谷区の国際園芸博覧会及びテーマパーク構想(仮称:KAMISEYA PARK)を見越した街づくり、玄関口である大和駅周辺へのコンベンション機能を備えたホテルの誘致などを目指します。



「国際園芸博覧会協会ホームページより引用」

#### 行動指針3「行政・各種業界団体との連携による賑わい創出」

行政・各種業界団体との連携によりイベントにより賑わいを創出し地域経済循環における、支出の域内消費を促進しつつ域外消費の獲得も目指します。



#### 行動指針4「商工会議所の基盤強化」

商工会議所の組織力向上(会員増強)に努めながら、地域産業の発展、すなわち地域経済循環の改善を牽引する地域総合経済団体として機能強化を図ります。





## 4. ミッションの推進体制

- ・ミッションから具体的なアクションプランを策定し事業計画に基づいて事業を実施し目標(「地域経済循環図の改善」)を明確化します。
- ・正副会頭会、提言書策定特別委員会などを通じてPDCAサイクルにより事業を推進します。
- ・部会・委員会・支部活動等を通じて業界動向や会員事業所のニーズを汲み上げ、アクションプランに反映します。
- ・行政、業界団体等との連携や広域連携を強化し事業を推進します。

## 5. 実施スケジュール

2024年度～2028年度(5年間)  
【2024年3月26日】 通常議員総会  
「商工会議所ビジョン」が確定

【2024年4月以降】 新年度  
アクションプランの策定スタート  
※アクションプラン策定後、事業計画に基づき事業を実施。PDCAサイクルにより事業を推進  
※部会・委員会活動等を通じニーズの汲み上げ  
※2028年度までの5年間、上記と同様PDCAサイクルにより推進

## 6. 検討の経緯

提言書を作成するため、大和商工会議所内に「提言書策定特別委員会」を設置し、データ等に基づく大和市の現状把握等を踏まえ、商工会議所が自ら改善に取り組む「商工会議所ビジョン」、大和市のありべき産業像を描いた「大和市産業活性化ビジョン」、そして、大和市への提言書の検討・策定を行いました。

委員会では、商工会議所ビジョンの策定を2023年(令和5年)6月から2024年(令和6年)3月まで計9回の会議を開催し、データに基づく大和市の現状把握、大和商工会議所として取り組む事業の検討等を行いました。

### < 提言書策定特別委員会の開催 >

第1回	2023年6月7日	第6回	2023年12月6日
第2回	2023年7月5日	第7回	2024年1月17日
第3回	2023年9月6日	第8回	2024年2月7日
第4回	2023年10月4日	第9回	2024年3月6日
第5回	2023年11月1日		

※各部会等においても、積極的に意見・情報交換を実施